

バドミントンのシャトルの修理

修理に必要な道具（柔らかい羽を扱うので100円ショップの工具で十分です）

- ・ニッパー
- ・ラジオペンチ
- ・（先の曲がった）ヤットコ
- ・カッター
- ・木工用ボンド
- ・（ピンセット）



A 修理に使う良い羽の準備

傷んだシャトルから、良い羽を抜き取るため4箇所をニッパーで切る。



ラジオペンチで羽を傷めないように引き抜く。



抜き取った羽に接着されている糸をニッパーで取り除く。



拡大





拡大



(糸の穴に羽軸を通すので) 抜き取った羽軸の 側面 をカッターで少し削る。
-----この作業が1番目のポイント!



拡大



B 修理するシャトルの傷んだ羽を取り除く

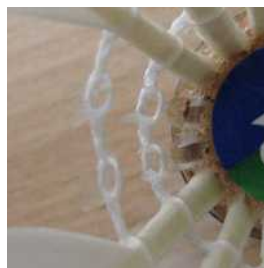
ニッパーを使って、傷んだ羽軸を糸のすぐ下で2箇所切断する。



ヤットコを使って、羽、軸を糸から引き抜く。同様にコルクから軸を引き抜く。



拡大



C 修理するシャトルに A で準備した良い羽を差し込み、接着する

B のシャトルの羽軸が抜けた糸の穴に良い羽を差し込む

糸の穴の大きさに対して羽軸の太さを調節しながら行う。

羽軸をラジオペンチで押さえて薄くすると、糸の穴に入り易くなる。

(羽軸は弾力性があり、圧縮しても暫くすると元の厚さに戻る。)

-----この作業が 2 番目のポイント！



羽軸を糸の穴 2 箇所に通してから、コルクの穴に入れる前にボンドをコルクの中に入れる。

羽軸をコルクの中まで完全に押し込む。

その他の羽とのバランスを見ながら、必要に応じてヤットコで羽軸を回転させて調整する。

先の細い棒 (ゼムクリップ等) で接着剤を、コルク部、糸の穴 2 箇所に付けて固定する。



羽を交換したシャトル
の一例 (軸が少し細い)

それぞれパーツを用意しておいて作業すると効率良くできる。

修理用の羽、修理用の羽軸を削った羽、1 本修理が必要なシャトル、2 本修理が必要なシャトル等